



ドイツバロックのリコーダーソナタ

リコーダー

本村睦幸

チェンバロ

根本卓也



- J. ウリッヒ: リコーダーソナタ 第5番 ニ短調
- A. H. シュルツェ: リコーダーソナタ 第5番 変ロ長調
- J. C. ケルル: パッサガリア(チェンバロソロ)
- J. C. シックハルト: リコーダーソナタ 作品23の7 ハ長調

休憩なし60分のトークコンサート
同プログラム3回公演

昼 13:30 開演 (13:00 開場)
夕 16:00 開演 (15:00 開場)
夜 19:40 開演 (18:00 開場)

各回15席限定・要予約 ¥3,500

■ご予約・お問い合わせ

デ・ルストホフ: lusthof.concerts@gmail.com
あしの: 090-6045-9311



■ご予約フォーム

<https://forms.gle/VWGDBXKN8pLNuRWR6>

2022年4月20日 [水]

Space 415

中野区新井2-48-12
<http://space415.info/>

JR中央線/東京メトロ東西線
中野駅北口より徒歩12分

野方警察署近く、区立野方児童館の隣
「芦野」の表札がある入口をいってすぐ右の建物の2階

中野の Space 415 で、トークを含め、休憩なし 60 分のプログラムを 1 日 3 公演行う「小さな室内楽」。4 月も 40 席中 15 席限定で開催します。今回は主にドイツバロックのリコーダーソナタを集めたプログラムです。たくさんのリコーダー作品を書いたシックハルトは、オランダでの活動が長いドイツ人ですが、作品 23 のソナタ集は、バッハが仕えていたケーテン侯レオポルドに献呈されています。それから、近年注目されているウリッヒのソナタ集とシュルツェのソナタ集からも 1 曲ずつ選びました。テレマン以外のドイツのリコーダーソロソナタを聴く機会は意外と少ないのではないのでしょうか。ご期待ください。また、チェンバロソロでは、バッハに先行する音楽家の中で最重要な一人ケルルのパッサガリアをお聴きください。チェンバロはジュゴンボーイズでおなじみの根本卓也さんです。少人数のお客様と演奏者で音楽を共有する場を楽しみましょう。



- ⑤ 二本目の角を左折
(角切りに沿って)
- ④ 体育館の次の信号を右折
- ③ 中野体育館信号を左折
- ② 左手のエスカレーター
/階段を登る
- ① 中野駅北口下車
JR/東西線

Space 415
〒165-0026
中野区新井2-48-12
電話03-5380-2430

予告
6 月 23 日 (水) 小さな室内楽 第 33 回 共演：門倉佑希子、折口未桜、中川岳

本村睦幸 Mutsuyuki Motomura (リコーダー)

東洋のナポリに生まれる(笑)。中 2 頃リコーダーにはまり、それをこじらせたまま現在に至る。アムステルダム・スヴェーリンク音楽院卒。W. ファン・ハウエらに師事。アムステルダムを拠点とする十余年にわたる活動を経て、2001 年に帰国。リコーダー音楽が花開いたルネサンス・バロック時代の室内楽の楽しみを現代に活かすことを夢見て、愛好家の方々にとっての聴く喜び、奏でる喜びの双方を見据えた活動を展開し、2009 年に続き 2019 年の「東京リコーダー音楽祭」でディレクターを務めるなど、様々な方向からリコーダー音楽の魅力を発信している。リコーダーに本来的な小さなサロンのあり方を探る〈小さな室内楽〉シリーズや、リコーダーの様々なレパートリーを網羅的に取り上げる〈本村睦幸リコーダーシリーズ〉を活動のベースに置きながら、各地でコンサート活動を展開しつつ「高田馬場リコーダー練習所」を運営してアマチュア活動のサポートにも熱意を傾けている。CD は「オランダバロックの愉悅」、「バルサンティ：リコーダーソナタ全 6 曲」、「無伴奏リコーダー 600 年の旅」、「テレマン：無伴奏フルートのための 12 のファンタジア全曲」、「ナポリのリコーダーコンチェルト」をリリース。「ナポリのリコーダーコンチェルト」はコンサートライブの DVD も発売中。高田馬場リコーダー練習所コーチ。デ・ルストホフ園長(自称)。ホームページは、<http://mutsuyukimotomura.com/>



根本卓也 Takuya Nemoto (チェンバロ)

東京藝術大学大学院修士課程(指揮専攻)修了。在学中に古楽へと傾倒し、修了後渡仏。国立リヨン高等音楽院で、通奏低音のディプロマを取得。帰国後は《ジュゴンボーイズ》等のグループで、チェンバロ奏者として活動。2020 年にはリコーダー奏者本村睦幸氏と CD『ナポリのリコーダーコンチェルト』で共演(ワオンレコード)、各種批評誌で高い評価を受ける。現在、新国立劇場オペラ部門音楽スタッフとして年間を通して公演に寄与する傍ら、東京二期会・OMF・ニッセイオペラ等、国内の主要団体に合唱指揮・ディクションコーチ・作品レクチャー等多岐にわたり活躍。作曲家としての顔も持つ。2016 年、サクセス・歌とのトリオ《Nemo Concertato》で、谷川俊太郎の詩に寄せた CD ブック『大人のための俊太郎』を上梓(アルテス音楽出版)。2018 年に初のオペラ《景虎〜海に消えし夢〜》が(公財)妙高文化振興事業団の委嘱で初演され好評を博し、昨年 9 月にはモノオペラ《寡婦アフロディシア》(原作：マルグリット・ユルスナール)が、メゾソプラノ清水華澄氏の委嘱により白寿ホールにて初演。HP：<http://nemototakuya.info/>